

◇ 鶺鴒の子滝 (うのこだき)

領内名勝図巻 第一巻 上益城郡矢部手永之内 衛藤良行筆

通潤橋から曲がりくねった県道 320 号線をたどっていくと「鶺鴒の子滝入口」のバス停があります。

県道から外れて車一台がやっと通れる山道を約 1 キロ。車を降り、苔むしていかにも滑りそうな遊歩道を慎重に歩いてさらに 1 キロ。笹原川にかかる、「鷹滝」、「鶺鴒の子滝」を見渡せる展望所に出ます。ここまでたどり着くのは大変ですが、まさに絶景、見事な景色です。

図巻の絵は緑川をはさんだ現在の鮎の瀬大橋あたりから描いた遠景で、猿が城など周辺の峡谷の雄大さが際立つ構図となっています。

紅葉に彩られる頃の鶺鴒の子滝は非常に美しく、山都町の観光案内などにも写真が掲載されています。ただし、植物が成長して展望台からは滝全体を見ることができなくなっているのが、ちょっと残念です。非常に険しい崖なので、伐採などの手入れを行うことは困難とのことでした。



上段は鷹滝、下段が鶺鴒の子滝



左手に鮎の瀬大橋、右手奥に小さく鶺鴒の子滝が見える



領内名勝図巻

永青文庫所蔵



現在の風景



所在地：熊本県上益城郡山都町



ギャラリーに設置してあるタッチパネル式ディスプレイで 4k 画質の動画をお楽しみいただけます